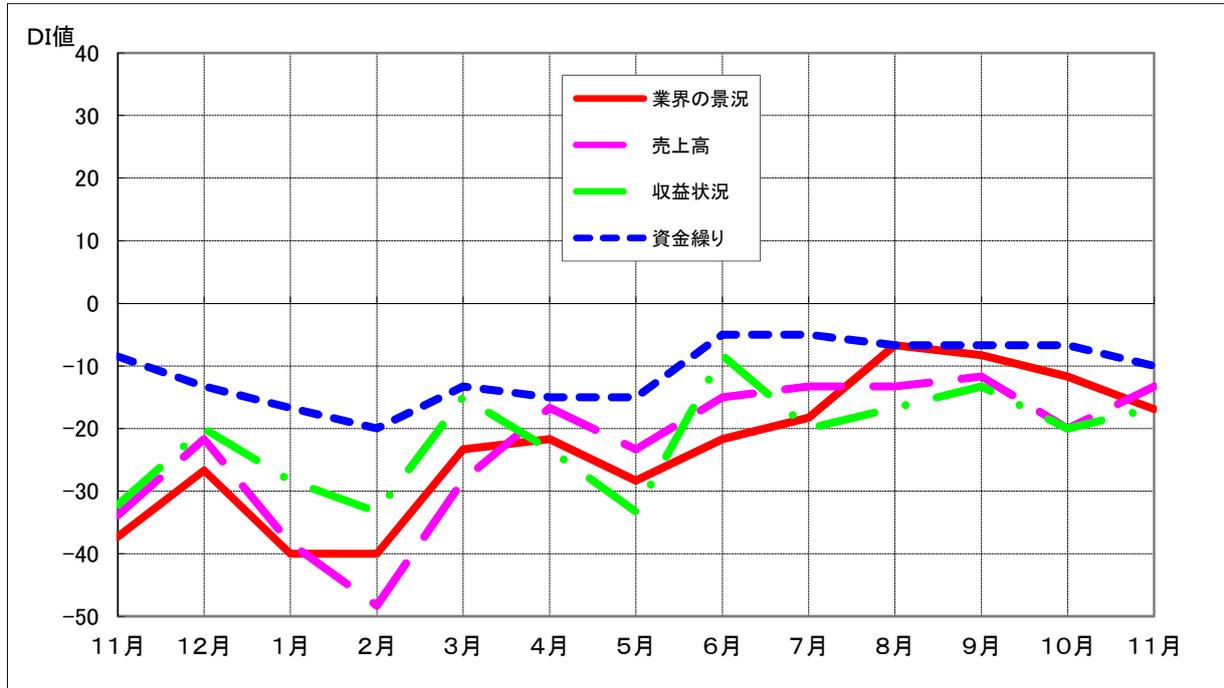


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成28年11月～平成29年11月

単位:ポイント



	H28		H29										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
業界の景況	-37.3	-26.7	-40.0	-40.0	-23.3	-21.7	-28.3	-21.7	-18.3	-6.7	-8.3	-11.7	-16.9
売上高	-33.9	-21.7	-38.3	-48.3	-28.3	-16.7	-23.3	-15.0	-13.3	-13.3	-11.7	-20.0	-13.3
収益状況	-32.2	-20.0	-28.3	-33.3	-15.0	-23.3	-33.3	-8.3	-20.0	-16.7	-13.3	-20.0	-16.7
資金繰り	-8.5	-13.3	-16.7	-20.0	-13.3	-15.0	-15.0	-5.0	-5.0	-6.7	-6.7	-6.7	-10.0

11月のDI値は前月と比べ、2項目改善、2項目悪化であった。「売上高」DI値は6.7ポイント、「収益状況」DI値は3.3ポイント改善、「業界の景況」DI値は5.2ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化した。前年同月比でみると3項目改善、1項目悪化であり、「業界の景況」DI値は20.4ポイント、「売上高」DI値は20.6ポイント、「収益状況」DI値は15.5ポイント改善、「資金繰り」DI値は1.5ポイント悪化した。連絡員からの報告では、製造業、非製造問わず受注・売上状況が良い業界と、悪い業界が出てきている。また人手不足による影響も恒常的に寄せられている。

組合の特記事項からは、製造業においては一般機器製造業では売上・受注拡大が継続して報告され、アパレル製造業でも受注が伸びているが、住宅、建具、生コン製造業などでは厳しい状況が続いており、漬物製造業、ハウスウェア製造業では人手不足の影響が出ている。非製造業では、袋セメント卸売業、スポーツ用品小売、広告業などでは受注・販売の増加との報告が出ているが、そのほかの業界では依然として厳しい状況が続いており、製造業と同様に非製造業においても、旅館業、建設業等で人手不足の景況が出ている。